

平成29年度公益社団法人朝日町シルバー人材センター事業計画

はじめに

昨年は、当シルバー人材センターが記念すべき20周年という節目の年でありました。平成29年度も、町は元より企業各社、町民の皆様からご支援ご協力を頂きながら、更なる飛躍の年になるよう会員及び役職員が力を合わせ、魅力あふれるセンター構築を目指し、事業を推進したいと思っております。

近年、会員数は増となっているものの、特に、女性への長期就業依頼が多く、現在の女性会員数では対応が困難となっております。また、高年齢者の雇用確保措置の義務化に伴い、定年延長・再雇用制度の定着化の影響により、平成28年度新入会員全員が65才以上という現象が生じております。

当センターでは、次の三点を重点に実施していきます。

第一は、役員会、地域活動委員会及び女性会員の集い等を重点に、情報提供をしながら口コミ作戦をさらに促進したいと思っております。また、新聞の折り込みチラシや一般公募の講習会を開催するなど、町民へのアピールを積極的に取組み、会員拡大の強化に努めます。併せて就業開拓も図りたいと思っております。

第二は、安全就業の強化です。重篤事故等を未然に防止することが目的であるペナルティー制度への導入を図り、安全に対する意識をさらに向上させ、安全就業実施のための取組みを強化します。

第三は、5ヶ年中期計画の3年目を迎え、当初の目標数値をクリアすることはもちろんの事、これまでの課題に対しても積極的に取り組む必要があり、併せて事務局体制の確立をめざします。

事業実施計画

1 目標値の設定（5ヶ年中期計画数値）

- | | |
|---------------|----------|
| (1) 会員数 | 147人 |
| (2) 契約金額（請負分） | 52,200千円 |
| (3) 就業実人員 | 135人 |

2 安全・適正就業の推進

安全適正就業委員会及び職群班長・グループ長を中心に安全適正就業に関する

取り組みを強化します。

昨年度は、安全就業対策として、委員会では、各作業班の安全にかかる現況について話し合いをしました。会員の重篤事故を事前に回避することが最も重要であるため、ペナルティー制度についても協議をしました。最終的に、この制度を導入することを決定し、具体的な内容については、本年度、委員会で協議を図る予定であります。

作業現場の安全パトロールについては、不定期に実施し、安全確認及び安全指導を行い安全意識の向上を図ります。また、各職群班の安全講習会、技能講習会を開催します。

次に、適正就業対策として、国の作成した適正就業ガイドラインはすでに、会員及び発注者の各事業主には周知済みですが、委員会及び研修会等の機会に、就業時間、共同作業等の形態の適正化について、周知徹底を図るよう努めます。

3 就業機会の確保及び会員拡大の推進

近年、会員数及び受注依頼も順調に伸びており、特に女性会員への依頼が多いため、さらに会員拡大に向けて強化を図るよう努力をしなければなりません。

当センターの根幹事業であり、その確保に向けて機能強化の推進に取り組みます。

(1) 会員の拡大

- ① ホームページのリホームにより、独自事業等の紹介及び当センターの情報をより一層詳細に提供し、会員拡大を図ります。
- ② 町広報及び当センター機関誌により情報を提供。また、各新聞の折り込みチラシによる会員募集等の周知啓発を図ります。
- ③ 役員会、地域活動委員会及び「女性会員の集い」等による、口コミ作戦を強化し、会員継続及び入会促進を図ります。
- ④ 町民を対象に剪定講習会を開催し、当センターのイメージアップを図ります。

(2) 就業機会確保事業

① 高齢者活用・現役世代サポート事業（派遣）の実施

平成27年度より、この事業をスタートし、若干ではあるが契約事業者が増えております。当センターの特徴は、稲作にかかる運搬作業を含めた農業

事業者、スーパー等の量販店、施設の受付管理等、徐々に就業延べ人数も増えております。

この事業をさらに拡大していくためには、新たな会員を確保することが一番重要となります。同時に、公共施設や企業に対し営業活動を実施し、開拓ができるよう強化を図ります。

併せて、取扱い手数料が安価な有料職業紹介事業の就業拡大にも努めます。

② 家事援助作業にかかる受注促進を図る

高齢化社会に伴う軽易な作業ニーズが、今後益々増えることが予想されます。町とも連携しながら家事援助的な受注拡大を図り、高齢者会員の就業拡大を図ります。

4 独自事業の推進

この独自事業にのみ就業する会員も増えております。事業の継続が難しい面もあるが、高齢者会員の受け皿としても会員でできる独自事業を開拓しなければなりません。

(1) 買い物支援移動販売事業

平成26年度より3ヶ年事業としてスタートしたこの事業も、平成28年度をもって国の補助対象事業としては、終了しましたが、今年度より、町単独補助事業として受託継続し、これまで培ってきた経験とノウハウを生かし、超高齢化に伴う買い物弱者の支援と併せて、地域住民のいろいろなニーズにもしっかりと対応できるよう努めていきたいと思っております。

(2) 介護予防健康体操教室

本年度より新たな教室として、3B体操を年24回開催する予定であります。ボール等3種類の用具を使つての軽運動です。

(3) 認知症カフェの開催

<オレンジカフェほっとアイリス>を開設して3年目となります。

毎回利用する参加者も一部定着し、多いときは30人を超える「カフェ」となっております。サポート役の当センター会員は、情報交換をしながらさらに、スキルアップを図り充実した就業を行ってまいります。

(4) 軽度生活援助事業

身体介護を伴わない洗濯、買い物、室内清掃等軽易な日常生活上の支援を行

う事業ですが、介護サービスが優先するため難しい面もあり、町ともその都度協議しながら進めていきたいと思えます。

(5) 農産物の生産及び販売

会員が当センター農園で栽培した葉物野菜の他キュウリ、大根、サツマイモ、サトイモ、玉ねぎなどの季節野菜を当人材センター事務所に陳列し、百円～二百円で販売。他に温泉旅館などにも安価で卸しています。

(6) ふれあいサロン<アイリス>の開放

女性趣味の会等各種団体の会合などの拠点として、順調に利用者は伸びています。さらには、認知症カフェ等受託事業もこの場所で開催しております。

(7) その他の事業

① 朝日町移動図書館と古本の貸出し。

「サロン」前のフロアを利用し、町民が気軽に立ち寄れる場所として、本の貸出しをしています。

② ドーナツ販売

手作りドーナツを「あさひ祭り」で販売し当センターのPRを図ります。

③ 正月用の門松造り

日頃お世話になった事業主等に販売。特大等4種類を造る。地元「なないろ館」の朝市にて販売しています。

④ 刃物研ぎ

包丁、ナタ、鎌、剪定鋏等1本510円から。

他「地域社会貢献」の一環とする「シルバーの日」に、草刈り等奉仕活動をおこないます。

5 事務局体制の充実

会員の増員を図るための職員の意識改革等、事務処理を含め事業の円滑化を推進するために、事務局体制の充実及び確立をめざします。